

わたしのここ  
ろ

TAKA

「私のこころ」

目を閉じて、  
自分の心の底に潜っていく感覚.....  
言葉をさがす。  
モヤモヤしたもの、  
グチャグチャの思考。  
私は何を隠しているの？  
自分のことなのに、  
自分がわからない。  
閉じられた世界。

カワイイもの、  
キレイなものに囲まれた私の部屋。

でも、  
ここには私がない.....

「言えなかった言葉」

自分のところをナイフで切り裂くと、  
子どもの頃から抑えてきた言葉が年輪のようにになっている。

「私を見て欲しい」

「心配して欲しい」

「かまって欲しい」

「私に興味を持って欲しい」

言えなかった言葉。重なった思い。  
グチャグチャの思考は重く抑え付けられている。  
本当は言いたかった言葉たち。  
私の欲望。

「話を聞いて欲しい」

「一緒にいたい」

「抱きしめて欲しい」

でも言えない。恥ずかしいから。  
その上に言葉が重なる。

「連絡して」

「いま話せる？」

「好きな人いるの？」

「遊びに行きたい」

それも言えない。

言葉はもっと日常的なこと、

あたりさわりのないことになっていく。

それはどうでもいいようなこと。

でも、

どうでもよくないこと。

写真。

メール。

来週の予定。

彼のために買った服。

一緒の思い出。

変なこだわり。

口調。

雰囲気。

趣味。

怒られたこと。

ほめられたこと。

自分でも忘れていた思いが年輪のように積み重なっている。

忘れられた私のころ。

隠された私の欲望。

グチャグチャになって、捨てられてしまった私の思い。

本当は言いたかった、

たったひとつのこと。

「愛して欲しい」

ごめんね、私のこころ。

ごめんね、勇気がなくて。

ずっとずっと我慢していたんだよね。

言えなくてごめんね。

## わたしのこころ

<http://p.booklog.jp/book/37965>

著者：TAKA

著者プロフィール：<http://p.booklog.jp/users/hakwsbook/profile>

感想はこちらのコメントへ

<http://p.booklog.jp/book/37965>

ブックログのpapier本棚へ入れる

<http://booklog.jp/puboo/book/37965>

電子書籍プラットフォーム：ブックログのpapier（<http://p.booklog.jp/>）

運営会社：株式会社paperboy&co.